

# キンスポ

2輪専用サーキット  
近畿スポーツランド  
情報発信紙  
冬号(第6号)  
Tel(0774)88-3633  
<http://www.kinspoc.com>



**2016 KSLガール**  
※写真は2015 KSLガールです。  
●開幕戦でまっぴら皆さん  
よろしく  
お願いします♡

## KTC杯 近畿スポーツランドRR 最終戦

### 晩秋の天空で175台の熱いバトルが展開!

★最終レースM-GPは番長UNO-P★が10度目のチャンピオンに輝く!!

昨年の10月25日(日曜日)、肌寒い風が吹く中、2015近畿スポーツランド ミニバイクロードレース最終戦が、天空のサーキット近畿スポーツランドで開催された。今回はKTC 京都機械工具株式会社の冠協賛で開催され、大型工具ケースを始め、豪華KTC製品が賞品や抽選品に提供されたこともあり、総参加台数175台という近年では最高エントリー台数で開催され、全15クラスの素晴らしいレースが開催された。上級者クラスでは7人のシリーズチャンピオンも決定した。やはり特筆すべきはMGPのUNO-P事、宇野正弘が10度目のチャンピオンという快挙を達成した。おそらくモータースポーツでは他に類のない事と思われる、正しく金字塔を打ち立てた。お昼休みにはKTCフルトラックスが開催され、会場に来て下さった皆様が多数参加され、KTCに関する問題が出題され、〇×クイズ形式にて豪華賞品争奪で争われ、優勝者にプラチエが進呈され大いに盛り上がりを見た。レースでは転倒や怪我をしてしまった選手、普段の実力が発揮出来なかった選手、勝利の喜びに酔いしれた選手、そしてその素晴らしいレースに立ち会った観戦者等、当日会場にいた全ての人たちの喜怒哀楽それぞれのドラマに、会場は一日中拍手や歓声が鳴りやむ事は無かった。2016年は大会名称も新たに近畿スポーツランドロードレースシリーズ2016となり、初戦4月17日に開催予定! 選手たちの戦いは既にはじまっているようだ。(各クラスレースレポートは6面)



M-GP 上位3名 小島が嬉しい初表彰台を獲得



M-GP スタートジュニア中心に増え19台でのスタート



## トピックス

### 男・女トイレが洋式簡易水洗 身障者対応完成!

オープン以来自然落し式(いわゆるぽつぽつ)の男子・和式の女子だったキンスポのトイレが、男女共にリニューアルされました。これにより以前より清潔になり、洋式になることによりツナギ姿でも使いやすいくなり、お子様や女性にも喜んでいただけることと思います。



↑男子は洋式簡易水洗に室内もきれいに塗

←女子も洋式に変更及び身障者対応に!



**BOSCO MOTO レンタルギア**  
レーシングスーツ・ブーツ・グローブの貸し出しスタート!



ベアリック・アレンネスブランドの購入を検討されている方で実際の着心地を試したい方初心者の方やレースを始めたいけど未だ購入されてない方・一度サーキット走行を体験したい方、ツナギを修理中の方、ツナギを忘れた方、エンジン系レースに参加したい方、体験走行企画の参加者の方やツナギイベントやレース体験イベントの参加者等々……お気軽にご利用下さい。詳しくはHPを! ご予約・お申込みは お電話で! 0774-88-3633



# 第11回

## 北川圭一杯大盛況!

昨年の12月6日(日曜日) 第11回北川圭一杯が今年も近畿スポーツランドで開催された。2時間耐久が3レース開催され、レベル別にA耐久(ノーマルSPOP)、B耐久(ノーマル) エンジヨ耐久(AクラスBクラス)と全6クラスが開催され、総エントリー台数84台、198名もの近年では最も多い台数で盛大に開催された。今回は北川ライディングスクールの受講者も多数参加し、日頃の成果を発揮! 素晴らしい上達ぶりを見せていた。元世界耐久王者の北川圭一はもちろん、ヨシムラのエースの津田拓也選手を始め、新庄雅浩選手、長尾健吾選手、津田一磨選手、奥田貴也選手、行方智生選手など全日本ライダーも多数参加し、大いに会場を沸かせてくれた。お昼休みには津田拓也選手と北川氏がスキのストリートユーマシーンGSXS1000のデモランが披露され、派手なウィリーを魅せ、場内は大きな声援や歓声に包まれた。

最後のA耐久ではOPクラスで参戦した津田拓也選手と新庄選手の意地の張り合いタイム合戦は場内の観客、ファンも大興奮! 抜き抜かれのタイム合戦は新庄選手のお約束?の転倒により、津田選手が勝利して場内も拍手と歓声に包まれた。表彰式では協賛各社からの豪華賞品でジャンケン大会まで盛り上がり、暗くまでキンスポには歓声が飛び交っていた。次回第12回大会は12月4日に開催予定だ。

ノーマルA耐久 優勝ナカジマB・P 2位デンジヤール 3位Team UDA OPP耐久 優勝山之上MSC SP耐久 優勝フジミPR+森下組  
B耐久 優勝チームへなちよこ 2位真加部レーシング 3位真加部レーシングセールス  
エンジヨA耐久 優勝F・stage 2位天津飯RTA・3位父と子  
エンジヨB耐久 優勝MCFレーシング 2位頭文字KT  
C3V TeeK&U Withたに



総勢約200名と応援の皆さんで会場は超満員!



左から新庄・津田拓・北川・津田一・長尾・行方・奥田 (敬称略)





# ●2015キンスポRR シリーズチャンピオンインタビュー

2015シーズンの上級クラスAクラスのチャンピオンが最終戦に決定した。MGPの番長UNO-PPのV10という金字塔がひととき目を引いたが、Moto4のベテラン田村の初のチャンピオン獲得！昨年幻となったOPPのM.Rポポの悲願のチャンピオン獲得！最後までもつれたKIDSクラスの濱島の勝利！開催元年となったCBR250Rドリームカップは国際的に活躍する佐野優人！正しく帝王に相応しい強さで2年連続チャンピオンを獲得したベテラン神原！そして死神博士の1004歳でのチャンピオン獲得と各クラス多彩なドラマや感動があった。チャンピオン獲得した各選手の喜びの声を届けよう。



チャンピオントロフィーと副賞を手にした7人のチャンプ！

## ●M・GP チャンピオン

★前人未到のハイエンドクラス  
100回目のチャンピオン獲得！

## UNO・P★(宇野正弘)

2015年は、100回目のチャンピオンがかかっているのもあって気合い入りましたね。  
他のシリーズにも参戦している事もあって、自身とマシンコンディショニングの調整に凄く気を使いました。事前の準備を出来る事から前倒しで終わらせて、体調管理をしながらやり残している事がなか再度確認して微調整を繰り返していました。  
今までと少し取り組み方を変えて、積み重ねてきた経験を信じて、その経験と技量を発揮出来る車体をしつかりメンテナンスをして作り上げ、身体を酷使し過ぎないように体調を整えてリラックスして挑めるように心掛けていました。  
100回目のチャンピオンを獲得出来たのも、サポートして下さった方や応援して下さい下さった皆さんのお陰です。有難う御座います！

## ●FN4&FPチャンピオン

## 死神博士(安田義隆)

1004歳という年齢をばらされてしまったシリーズでしたが、しつかり鍛錬を重ねるチャンピオンの面々と肩を並べられて光栄ですね。2016シリーズは踏み台にして超えて行ってくれるメンツがいることを期待して楽しみたいです！



## ●NSF100HRCトロフィー チャンピオン

## 神原浩一(さかきばらこうじ)

開幕戦は危なげなく勝てたのですが、2戦目は子供達が速くなってきたのと、一瞬の油断した所をマオ号につかれて2位になってしまいました。最終戦は、気合を入れ直し予選コースレコード、決勝ポルトウインでチャンピオン決めて嬉しかったです。レスに集中できる環境を作ってくれる嫁に感謝しています。

茂木で行われたグラチャンは残念ながら写真判定の2位なつてしまいましたが、ワデさんから頂いた必勝絵馬や、近スポ社長始め、皆さんに応援して頂いた事に改めて感謝して、今年こそ日本一になって来ますので応援宜しくお願いします(´・`・´)





●OPチャンピオン

Mr. ボボ (高田邦臣)

2年越しで、参加台数も足りなかったのですが、主催者の良心でシリーズチャンピオンにしてくださいとありがとうございました。去年は、貧乏暇あり、バイク存続危機、家計崩壊状態の中でがんばってきたことが、報われました。これからは、もともと腕を上げてがんばっていいと思います。エントリ台数が増えて楽しくなることを祈って…。ありがとうございました。



●OPチャンピオン

佐野優人 (きの・ゆうと)

2015年は近畿スポーツランド代表としてCBR 250ドリムカップに出られてよかったです！鈴鹿では3位でしたがトップ争いの中、何度かトップに立てたりと、いいレースが出来ました！近畿スポーツランドでも2戦中2回ともポルトゥウィン出来、レコードも出せ目標として貰えると嬉しいです！今年も時期が合えば一度くらい出てもっとレベルを高めたいと思います！大好きな近畿スポーツランド代表でよかったです！



●Motor 4チャンピオン

田村喜宏 (たむら よしひろ)

慢心することなく今年も必死で頑張ります。昔から良かった次でいつもダメなので。



●KIDSチャンピオン

濱島依輝 (はまじま ゆうき)

2015はシリーズチャンピオンになってとてもうれしいです。今年もシリーズチャンピオンが獲れるように頑張ります。お父さんコメント(抜粋)今年もCRFで参戦する予定にしています。またタイムが先代のチャンピオンに追いついていないので、そこで詰めれば良いなと思っています。ステップアップでNSFも練習する予定です。DRZも速いので苦しい戦いになると思いますが頑張れば良いなと思っています。今年も宜しくお願いします。





# ●特集！ ついに念願の！

## キンスポがドクターヘリランディングポイントに登録！

近年普及しているドクターヘリ。ドクターヘリとは救命救急医師・看護士が搭乗し、大型ヘリコプターで登録された現場最寄の着陸地点に急行し、重篤な傷病者をいち早く処置することが出来るシステムだが、天空のサーキットといわれるキンスポでは救急車要請から受け入れ病院までかなりの時間を要し、命にかかわる症状のある傷病者が出た場合に時間的なリスクが高かった。しかし今回、念願であるランディングポイントに登録されたことにより、直接キンスポのコース上に着陸出来、その場でドクターが処置をしかつ迅速に救急設備の整った大型総合病院に空路で搬送することが可能となった。キンスポでは傷病者が出た場合、出来るだけ詳しい傷病者の状況を把握し、センターに伝える事が重要と考えています。万一口ドクターヘリの要請となった場合、レースや練習は一時中断となり、場合によってはその後のプログラムを終了することが出来ないことも有りますが、レースイベント練習走行の参加者の皆さんのご理解とご協力のほど、何卒、よろしくお願い申し上げます。もちろんドクターヘリは利用料金等はかかりませんが、要請するかどうかはセンター（行政側の判断）となります。またその際は運営側の指示に従っていただき、車両移動や立ち入り禁止の指示が出ますので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



昨年より活動する関西ゆりかもめがキンスポへ着陸



### 雑感

何年も前に万一、緊急の傷病者が出た場合に近スポにドクターヘリが来るのか？ 気になり色々調べたことがありました。当時はたしか都道府県単位でのドクターヘリの運用で、京都府は1機も保有していないとのことであきらめたことがありました。関西地域連合による都道府県によらずともドクターヘリが運用できるようになりましたが、近スポの場合は大阪からのヘリポートからということで、範囲が広く、中々実用的ではないと感じていました。が、2005年に滋賀・京都南部を担当するKANSAI YURIKAMOが運用開始となり、滋賀県・栗東市から飛び立つとのこと！空路だと近スポまでなんと10分程度で到着するとのこと、驚きと喜びに歓喜いたしました。しかし、問題は近スポまでのこの山道！着陸地点は下の小学校や宇治田原工業団地...といったことは、救急車で近スポへ、それから下の着陸登録地点に搬送となると、病院が少しちかくなつたかな？という程度。今回一番意味のあることは直接近スポのコース上に着陸できるということ、熟練した救命救急医や看護士さんがその場で処置を始めるということ。これは実質、傷病者がでてから治療が始まるまで、状況にもよりますが、約30分近く早く、これが心停止や呼吸に問題のある傷病者や多量の内、外出血の傷病者の救命等にどれほど大きなことかは、はかり知れません。天空のサーキットにとって、本当にありがたいことです。

しかし、来るこのことが一番！そのためには施設はもちろんですが、ライダーのみなさんの意識、装備、マナー、他人に対する思いやりが重要です。よく近スポはライセンス講習や走行マナーが色々あるといいますが、これでも足りないとおもいますが、皆様のご理解よろしくお願い申し上げます。

## 近畿スポーツランドロードレースシリーズ2016間もなく

### 開幕！ 一足入魂！

今年で12年目を迎える本大会！初心者もエキスパートも老若男女も多くのライダーが楽しめ、敷居が低く技術もマナーもレベルの高いレースを目指して開催してきた本大会。本年度も年間3戦のシリーズ戦で開催される。

今年度から大会名称を変更！「ミニバイクレース」というミニという言葉を改め、本大会名称となった。大人気の近スポ名物！M系4クラスMGP M1 M2 M3 はもちろん、4スト車両のみの選手権MGP M4 M5 M6 N（レギュレーションはM系4クラスと同じ）FN4&FP OP SP&S P4 ルーキー（初心者対象）キッズ NSF100 HRC トロフィー！去年よりスタートしたハンデ付き異種車両格闘クラスのバトルウォーズ同じく2年目のCBR250RRドリムカップ（エキスパートビギナー）そして、40代以上の戦いシネレシヨと同時開催される女性クラスのレディースクラスも新たに開催！全17クラス14レースが開催される。（特別開催除く）

本年度からM系4クラスのホンダグロム等4スト125cc横型エンジンの変更にともなう、益々多様化が期待される。注目の第1戦は4月17日（日曜日）JTRIP杯として盛大に開催予定だ。レギュレーションネットエントリーは近畿スポーツランドHPからダウンロードOK！規則書はしっかり熟読してレギュレーションは必ずお守りください。

### Kinki Sports Land Road Race Series 2016

近畿スポーツランドロードレースシリーズ2016

# 走魂

**R1 4/17** J-TRIP杯

**R2 8/7** 小西記念

**R3 10/23** KTC杯

名称が「近畿スポーツランドロードレースシリーズ」に変わりました！

2016

近畿スポーツランド

TEL0774-88-3633



## KTC杯 各クラスレポート

### ●ジェネレーションクラス

年齢40歳代以上による争い。ジェネレーションクラス。相変わらずの人気で、最終戦も15台のエントリーを集めた。年功序列によるスターティンググリッドにより、今回のポールは河田弘毅選手でレーススタート！1コーナーでいきなり3台がからむ転倒発生！混戦状態の中、難なくミスター・ジェネレーション渡辺選手が抜け出し、トップ。2番手はカントク事、デンジャゾーンの吉川、3番手はフリーザ以下、春ちゃん、FN4車両の下瀬、1コーナーの転倒から素晴らしいリスタートを見せた畑と続く。渡辺が順調に逃げ、早くも必勝パターンに持ち込む中、2番手の吉川をフリーザが追う展開の中、4番手争いは、はるちゃん、下瀬、畑の三つ巴バトルになる。中盤フリーザが1コーナーで吉川を捉え、2番手に浮上！さらにトップを猛追する。畑も1コーナーで下瀬をかわし、4番手に浮上！レース終盤、ついにフリーザが渡辺に追いつき、テールトゥーに持ち込んだ！ファイナルラップにフリーザがラインを模索しながら、しかけようとするものの、渡辺が逃げ切り優勝！フリーザ惜しくも2位ながら、素晴らしい追い上げを魅せた。今日のフリーザは乗れている！(この後、彼に不運が降りかかるのだが……)それはまた別の話で……3位に吉川、そして序盤転倒に見舞われながら見事な追い上げで、畑が入賞を果たした。



優勝 渡辺 広人



2位 フリーザ



3位 吉川 朋史



4位 畑 彰

### ●ルーキークラス

老若男女さまざまだライダーが走行する、初心者向け制限タイム49秒のルーキークラス。今回も10代の青年から熟年期を迎えたライダーまでそれぞれの楽しみ方でレースに挑まれている！レースは2番グリッドの西村がスタートの瞬間に大きく前輪をUPしてしまい中盤に埋もれてしまい、1番グリッドの石橋はまずまずのスタートで5番手に付ける。素晴らしいスタートを決めたのは8番グリッドの小池が大きくジャンプアップに成功し、3番手に付ける。トップ集団はハミン中本、加藤、小池、本多、石橋の5台で形成し6位以降にアドバンテージを築いていく展開だ。レースは終盤に差掛り依然5台のトップ集団だったが、KTCコーナーでKTCの走る広告塔小池に本多がインを鋭く突き3番手に浮上！5番手に付けていた西村も仕掛けるがフロントからスリッパダウンを喫してしまい後方に沈んでしまった。運命のファイナルラップ。抜群のスタートダッシュを決めて一度もトップの座を明け渡すことなく絶妙なライン取りで見事トップでデチャカーを受けたのはRSハミン中本が嬉しい近スポ初優勝に輝いた！2位は加藤、3位本多、4位小池となった。



優勝 中本 律子



2位 加藤 智規



3位 本多 弘樹



4位 小池 寛

### ●M-3クラス

今大会最多23台のエントリー台数となった制限タイム46秒5までのM-3クラス。勢いのある若者から巧みなテクニックを持つ中年世代まで、このクラスを勝つのは至難必至である。全車綺麗なスタートで1コーナーに雪崩れ込んでいく。ホールショットを決めたのは山口、そして野寄、小椋、水池のオーダーだ！予選トップの野寄はさすが最終コーナーで山口を捕え、トップに浮上！2番手の山口だが、なかなか思うようにペースが上がらず小椋からプレッシャーを受け、またしても最終コーナーで抜かれ3番手に転落してしまふ。レースも折り返しの6周目に野寄、小椋のマッチバトル、そして少し離れて山口、植木、丸野、水池、河田の2位集団が形成されている。2位集団にいる丸野は予選、そして1番グリッドだったが、スタートをしてから一周ごとに1台ずつパスして8周目には4番手までポジションをアップしている。そうこうしているうちにレースは終盤に突入した10周目！ずとトップを守っていた野寄が1コーナーのブレーキングで小椋にトップの座を明け渡ししてしまふ。ファイナルラップに負けじと翌週の1コーナーで差し返すが、すぐさまクロスラインで小椋が抜き返し素晴らしいバトルが繰り広げられる。見事トップでデチャカーを受けたのは小椋！2位に野寄、3位は見事な追い上げをした丸野！4位山口、5位植木、6位水池となった。



優勝 小椋 光紀



2位 野寄 真史



3位 丸野 公義



4位 山口 陽大



5位 植木 恒之



6位 水池 成弘



## ●M-2クラス

激戦として接戦のM-2クラス最終戦20台ものエントリーで興奮のシグナルが消灯した。1コーナーで先ほどジネレーションで準備したフリーザ選手が接触され転倒！臀部を強打し、動けなくなり救急搬送となった。転倒処理でレース中断となり仕切り直しとなった。再スタートポールのハミンの村上が好スタート！2番手に17インチの永田、3番手吉川、4番手渡辺とベテラン勢。以下松村、春ちゃん、飯吉と続く。トップの村上が順調に逃げる中、3位争いがやや接戦といった感じで、前半を折り返す中、各所あらちちらでバトルが繰り広げられる中、快調に2番手を走行していた17インチの永田が1コーナーでハイサイドで転倒し、残念なりタイヤになてしまった。これにより、2番手に吉川が浮上！4番手争いをしてた松村もリタイアしてしまい、各選手が繰り上がる。結局終始トップで安定した渡辺を抑えて吉川、3位は序盤のミスがひびいたか？渡辺とベテラン勢が表彰台4位は飯吉、5位は春ちゃんが入賞した。

優勝 村上正也

2位 吉川明史

3位 渡辺広人



4位 飯吉雄司



5位 春ちゃん



## ●M-1クラス

このクラスの上位3台には、大トリM系4クラス最高峰M1GPクラスへの挑戦権が与えられる制限タイム43秒5までのM-1クラス。予選上位6台のうち、なんと17インチ車両のNS50F/Rが4台もいる！40代のライダー中心ににわかに盛り上がりを見せている。ウォーミングアップが終わりスタートの瞬間を待っている各車だが、M-2クラスから昇格してきた畑がマシントラブルによりピットに誘導されリタイアとなてしまった。しかし畑選手も40代のライダーだの一つ下のM-2クラスから自主申告で上位クラスに昇格し、挑戦したいというチャレンジ精神に拍手をしたい！

さあ勢よく飛び出したのはPからスタートの後藤田だ！続く2番手に前田潤、前田伸、津田羽根の17インチ勢というオーダーで1周目をクリアしていく。スタート直後から後続を引き離しにかかる後藤田だが、前田潤も喰らいついていく。が2コーナーで痛恨のスリッパダウンを喫し戦線を離脱してしまう。前田の転倒もあり更に後続とのアドバンテージを築いていくJC後藤田！

少し離れて2位グループに前田伸、津田羽根が続き、少し後方に5位グループの森田、松村、先ほど転倒の前田潤となてている。

6周目1コーナーで津田のインを羽根がつかき3番手に浮上！パスする際にワイドラインになてしまい津田をグラベルまで押し出してしまてしまう。27番手をキープしていた前田伸だが、8、9周目に電池が切れたのか？続々とパスされ5番手までポジションをダウン。迎えたファイナルラップ！2位争いが熾烈なバトルを繰り広げ、1コーナーで津田が前に出たが、3コーナー進入では羽根がやり返す。大いに場内を沸かしてくれた！見事優勝は、ポールポジションからトップに君臨し続けた後藤田が嬉しい初優勝を飾る！2位は大バトルを繰り広げた結果、ペナルティの審議となり繰り上がりで津田となり、3位には序盤の転倒から見事な追い上げを見せた前田潤、4位は審議の結果、降格処分となてしまった羽根となてた。しかしペナルティとなてしまった10代の羽根だが、本当に素晴らしい魂のこもった走行だったので今後の活躍に期待したい。

優勝 後藤田悠

2位 津田徹

3位 前田潤

5位 羽根巧



## ●74クラス

デルタエンタープライズの74Dairioの車両を使ったワンメイクレースとなる74クラス。特別開催のレースに10台の子供達が参加してくれた！ポールポジションからいいスタートを決めた豊田兄と岡田が1位グループを形成し、2位グループに市川、豊田弟、ターナー、水兄の4台、後方に原、駒水、救本、竹本となりレースは進んでいく。上位陣に大きな順位変動はないが、4位争いの豊田弟、ターナーから目が離せない！スタート直後からやり合う2人だが先行する豊田弟を再三にわたってターナーが仕掛けていくが、コーナーの立ち上がりでは豊田弟に分があり、パスするところまでいけなく、最終的には豊田弟、ターナーの順でチェッカーとなてたが、今後2人のライバル関係が面白いそう！1位でチェッカーとなてたのは豊田兄が見事優勝を飾る！2位は岡田、3位市川となてた。

優勝 豊田哲慎



2位 岡田陽大



3位 市川和正



## ●SP&SP4クラス

参加者が少なく今年度チャンピオンシップ不成立になてしまったSPクラス決勝はなんと6台のエントリー。予選トップは番長UNO-IP★ではなく、なんとカタコリ、アジリキの野崎亮介というUNO-IP、2番手にUNO-PT、3、4、5番手には上垣、新岡、後藤田という年齢層がそれぞれ違うT★TECH勢の4スト車両が続き、紅一点女子高生ライダーのK-MAXの田村というグリッド。起るか？野崎のミラクル？ 場内注目の中レースがスタート！ ホールシフトは野崎だ！が、番長UNO-IPも野崎の背後に...3番手上垣、4番手に田村、以下後藤田、新岡と続く展開に...3周目に4番手を走行していた田村が大きくペースダウンしてしまて。マシンの不調か？4周目にはUNO-IPが野崎を捉え、トップに立った！この時点で番長がスパートをかけるであろうと思われたが、今日の野崎選手は違てた！番長になてしまったといていて...27か、1コーナーで野崎インから仕掛け抜いた瞬間に番長バランスを崩しスリッパ！番長前輪が野崎のリアにヒット！直後に両者転倒してしまて！あちやちやこれ3番手走行の上垣がトップに浮上！リスタートの早かった野崎が2番手、宇野も3番手で復活するものの少し遅れてしまて。今日の野崎は神をも見方につけたのか？その周回で上垣をパスし、トップに浮上した。番長も猛追し、上垣を捉え2番手に浮上するも野崎とは取り返しがたい差がついてしまて。そのまま野崎が逃げ切り野崎が同クラスいやエキスパートカテゴリー悲願の初優勝に輝いた！ゆとりなきゆとり世代のカタコリ君がエッジイクラから上り詰め、番長を真に向勝負で初めて倒したのだ！素晴らしいレースに場内から惜しみない大歓声と拍手が送られた。レース後にお世話になてたアジリキの店に詰め寄った野崎の目には、銀白に輝く栄光の粒が目頭からこぼれてた。野崎には本日のMVPとしてKTCから特別賞が贈られた。





優勝 野崎 亮介



2位 UNO-P★

## ●FP4&FPクラス

キンスポ発祥の4スト125cc未満10インチスクーターと2スト50cc未満10インチ準改造スクーターのFN4&FPクラス。予選は金沢転動で関西から姿を消し、久しぶりに帰ってきた民谷がPP2位はこのクラスの発案者である死神博士3位は広島から毎戦遠征をしてくれている三浦となった。ホールシヨットは4番グリッドから抜群のスタートを決めた中尾!2番手に民谷だが、2コーナーで三浦が差し後退。KTCコーナーでも中尾を捕え、なんと1周目をトップで帰ってきたのは三浦だ!以下、民谷中尾 死神下瀬 藤田と続く。トップを守っていた三浦だが4周目に後方から狙っていた死神がトップに浮上すると、2番手に民谷も上がり3番手に三浦となる。ここから毎週のように死神と民谷が芸術的なパッシングで順位を入れ替えながら走行となったが、最終コーナーで死神と民谷が並び、接触!民谷が痛恨の転倒をしてしまい、無念のリタイアとなってしまう。死神と三浦のマッチバトルとなり渾身のアタックを仕掛ける三浦だったが、100戦練磨の死神の前では赤子のようにあしらわれてしまった。見事3連勝でシリーズチャンピオンに輝いた死神2位下瀬上は失敗したが素晴らしい走りを魅せてくれた三浦3位中尾となった。これにより第2戦の日本一に続き、死神博士がシリーズチャンピオンに輝いた!

優勝 死神博士

2位 三浦康大

3位 中尾伸長



## ●キッズ

小学生低学年の子供達が中心のCRF50やDRZ50を使用したキッズクラス。年間チャンピオンをかけた負けられない戦いにこのクラスも目が離せない! 予選は、PPを獲得した鈴木2位森田3位濱嶋4位堀井5位岡村6位北氏の結果である。決勝レースは7周 シグナルブラックアウトで一斉にスタートを切った!4番グリッドの堀井が、誰しもがフライングだと思った超超超スーパースタートでホールシヨットを奪う。しかし年間ランキングトップのプレッシャーからか、思うようにペースが上がらず濱嶋鈴木森田に抜かれてしまう。2周目にトップに立った濱嶋は他の追従を許さず、このままトップでチェッカーを受けた! 濱嶋はキンスポ初優勝!そして大逆転で年間チャンピオンに輝いた!!2位は鈴木3位 森田4位 惜しくも3ポイント差でチャンピオンを逃してしまっ堀井5位 北氏6位 岡村となった。



優勝 濱島佑輝



2位 鈴木壮太

## ●バトルウォーズクラス

異種格闘によるポイント制レース。レース順位のポイントに車両ハンの係数(1倍、1.5倍)をかけて総合ポイントにて順位を決定する新しい形のレースだ。今回はこのバトルウォーズクラスとダブルエントリーをしてくれたライダーが多く、12台での決勝となる。レッドシグナル消灯で各車綺麗にスタートを切った!やはりスタート直後からOP仕様のMRポボが逃げていく、そしてSP仕様の田村、M仕様の山極、こちらもM仕様17インチの津田という展開だ。各車両のタイム差もあり等間隔でレースは進行していきそのままだモカールとなった(笑) 見た目のレース順位と同様に1位はMRポボ2位田村3位山極となり最終結果が発表された! 2016年度はポイントが大きく変わり、見た目のレース順位と最終結果が変わる予想なので参加するライダーはリザルトが発表されるまでドキドキすること間違いなしだろう!

## ●NSF100HRCトロフィー

2005年より全国規模で展開され、茂木や鈴鹿でランドチャンピオンシップとして全国大会が開催されてきたレースだ。代表権をかけた熱い戦いもいよいよ最終戦ポイントライダーの帝王榊原!7ポイント差でそれを追う土橋、ミスターNSF後藤とベテラン勢の争いに加え、気まぐれ天才!マオ号こと、佐藤まお、鈴木悠太、徳島の野村など急成長ジュニアライダーがどう食い込むか?注目の最終戦の幕が上がった。ホールシヨットは帝王榊原!それを野村、佐藤のジュニアライダーが追う、以下後藤、土橋、岡村、鈴木、中村と続く!4番手グリッドスタートの鈴木だが、予選の転倒で手を負傷しながらの決勝だったが、激しい激痛に襲われ、涙のリタイアとなってしまう。2周目2コーナーでなんと前回ミラクル勝利したまお号がリアを豪快に滑らせ転倒!残念ながらもリタイアとなった。これによりトップ争いは帝王榊原と徳島の元氣BOY野村の一騎打ちの展開になる。3位争いは後藤、土橋のベテラン勢のバトルに終始する。最終戦予選でレコードをたたき出した勢いそのままに、榊原は絶対調で野村もついていけず、土橋もヒタリと離れはじめる。3位争いは後藤が前に入!榊原が他を圧倒する走り、同時に2年連続シリーズチャンピオンを獲得!野村が今回は安定した走り、2位に入った。注目の3位争いは?1コーナーで、土橋が仕掛けて逆転し3位に入った。



優勝 榊原浩二



2位 野村唯人



優勝 MRポボ



2位 田村菜美



3位 山極洗士



## ●OPクラス

毎戦開催されるかドキドキのOPクラス。去年は幻のチャンピオンとなつてしまったMr.ポポが現在ランキングトップ。続く2位はジュスト社長岩倉。3位畑となつて迎えた最終戦。負けられない戦いがここにある！綺麗にスタートを決めた各車だが、2番グリッドの畑が出遅れ4番手に後退してしまふ。何がなんでもMr.ポポよりも先でゴールをしないとけないジュスト岩倉だが、2周目の1コーナーでキンスポ初参加の中島、そして同じく4周目に畑に抜かれてしまふ万幸事。スタート後から他の追従を許さない素晴らしい走り、トップでチチャカーを受け、見事チャンピオンに輝いたMr.ポポ！2位は初参加の中島となった。2016年度はOPクラスに17インチ4ST150ccなどの車両も参加可能となっているので沢山の方のご参加をお待ちしています。



優勝 Mr.ポポ



2位 中島 成吾

## ●Motok4クラス

4ストローク車両のみで争われるチャンピオンシップのMotok4クラス。37ポイントでポイントリーダーの土橋。それを追う33ポイントの田村。去年のチャンピオン布施川などチャンピオン争いも注目のレース。ポールはジュニアライダーの藤井公太！2番グリッドで逆転チャンピオンにかける田村。その後ろに土橋というグリッドで運命の決勝がスタートした。

ポールシヨットはホルの藤井！直後の1コーナーで、若手急成長株で、猛烈なスギ花粉アレルギーの山極がいきなり転倒してしまふ順位をおおきくおとししてしまふ。1周目を終えて藤井、田村、土橋、小島、後藤田、布施川、後藤、森本、中村というオーダーとなる。2周目2コーナーで、田村が藤井を捉え、トップに浮上！その直後4番手のT-TECHの後藤田がクラッシュ侵入で転倒してしまふ、無念のリタイアとなつてしまふ。その後方でも初参加のジュニアライダーの中村も転倒してしまふ。3位争いは土橋とハミンのエース小島が激しいバトルを展開している状況で、レースは後半戦に突入！藤井が再びトップに立つも田村も必死に追いつけるが、藤井が見事に逃げ切り優勝！2位に田村が入り、激しい3位争いを見た土橋と小島の戦いは、小島に軍配が上がり、土橋4位でフィニッシュするも痛恨の黄旗無視により順位降格ペナルティを食らうてしまふ。これによりベテラン田村がシリーズ初のチャンピオンに輝いた。田村の地道な努力が大きく花開いた最終戦となつた。

優勝 藤井公太



2位 田村喜宏



3位 小島歩



## ●CBR250R ドリームカップ

最終戦は鈴鹿サーキットで開催されるランドチャンピオンシップに出場できる2名の代表者が決定する大一番の決勝レースとなる。10代後半から20代前半の青年達が代表のチケットを誰か手に入れるのか？いよいよスタートのシグナルが切られる！年間ランキングトップの吉田が2番グリッドから抜群のクラッシュミット決め、ホルシヨットを奪うかと思われたが、幼少期からキンスポを走り込んでいた佐野が譲らず死守する。ここでバランスを崩してしまふ吉田は後退し、続く3コーナーで焦りからからスリッパダウンを喫してしまふ、それに付られて古高も転倒してしまふ。クラッシュの切り替えしでも松元が、翌週の同場所でも松が転倒し、それぞれリタイアとなつてしまふ。レース序盤から波乱の幕開けである。

レース中盤、トップ佐野は2番手の成田との差を見ながら落ちて周回を重ねていたが、1コーナー立ち上がりで大きくリアを流しバランスを崩し、グラベルまでオーバーランをしてしまふ。コース復帰はしたものの、一気に成田との差が無くなつてしまふ。しかし巧みな走行で成田に付け入る隙を与えず、見事トップで佐野がチチャカーを受け、グラチャンの切符を手にした！2位は久しぶりにキンスポのレースに帰ってきた成田となつた。残るもう一つのグラチャンへの切符は、転倒こそあったが3位に入つた吉田が手にした！



優勝 佐野優人



2位 成田彬人

## ●M1GPクラス

近スポ名物！フアアインナルレースでハイエンドクラス！M1GP決勝！夕暮れ迫るコースに今回も総勢19台のフアインリストが集つた。

2戦連続優勝で、今回もチャンピオンに輝けば本大会10度目のチャンピオンという金字塔がかかっている、一存し近スポ番長のUNOOP★。一人だけ予選41秒台を記録し、今回も敵なしか？師匠を狙うクリスタルけいちゃん、SPで初優勝し、激しく調子に乗る野崎、変人とりおギヤラクシーという四天王はもちろん！急成長を遂げるジュニア四天王の佐藤、鈴木、野村、大石！(鈴木は負傷により涙のDNS)そして2年連続NSFW王者の帝王神原、Motok4でチャンピオンを決めた田村、ハミンのエース小島、孤高のフアインライダー布施川、若手の山極という4スト人勢。さらに後藤田、伊東という女性トップライダーに加え、アグレッシブ17インチベテラン勢の前田、津田、岡山のジュニア藤井など、揃いにそろつた腕に覚えのあるライダーたちの熱い戦いの火蓋が切つて落とされた！ホルシヨットはやはり番長UNOOP！逃げられるとチャンスは絶望的となるので、すかさずクリスタルが番長の背後につける。

3番手にとりお、4番手は帝王神原、5番手に野崎、以下まお吉、大石、野村、小島、藤井、布施川、山極、津田、伊東、後藤田、田村、前田と続く。2周目2コーナーで、クリスタルが番長の前に出る。その直後野崎が転倒！神原が巻き添えを食らうてしまふ。野崎リタイア、神原も大きく順位をおとししてしまふ。2周目にUNOOPが1コーナーで前に出るも、離されてはいけないうクリスタルが2コーナーで抜き返す！3番手はトリオギヤラクシーが単独走行。4番手以降は団子状態です！

激烈な争いが展開され大石、まお吉、藤井、小島、野村あたりが激しい争いを展開する。その矢先に大石と藤井が3コーナーで転倒し、戦線を離脱してしまふ。クリスタルがトップだが、番長もバトルと付け様子をつかがう。このさなかに4番手には小島が上がる。残り5周で番長がトップに立つとベテラン勢、徐々にクリスタルを離れにかかってくる。クリスタルも必死に追いつけるのだが、前半の無理がたたつたか？番長以上のペースでの周回ができない。4番手争いが激烈で、まお吉、小島、野村、そこになんと序盤転倒し最下位まで落ちた帝王神原が怒涛の追い上げを魅せ、この集団に絡む4つ巴の争いに場内の注目が集まる。そして今年最後のフアインナルラップ！クリスタルも捨て身の猛追を見せるが、車両1台分及ばず、番長UNOOPが今シーズン3戦完全勝利にて10度目のシリーズチャンピオンという金字塔を打ち立て優勝！

2位クリスタル……？のはずが、2周目に黄色旗無視という痛い、痛い、ペナルティにより2順位降格で4位となり、2位にはとりおギヤラクシー。そして、激烈を極めた3位争いに輝いたのは？なんとハミンのエース小島！小島歩がうれしいハイエンドクラス初表彰台に輝いた！こうして夕日が丘に沈み薄暗くなり始めた天空のサーキットに数々の喜怒哀楽がこだまし2015年のシーズンが幕を下ろした。来シーズンも素晴らしいライダーの戦いに思いをはせ開幕戦に臨むことにしよう。戦いはもうじままっているのだから……

(レポート)田中康彦・和田昌文





優勝  
UNO-P★

3位 小島 歩



2位 クリスタルけいちゃん



2位  
とりおギャラクシー



# KTC杯フオトスナップ





# 2016近畿スポーツランド年間レース予定! Enjoy Light Bike Race!

|           |           |                             |                                                  |             |                             |
|-----------|-----------|-----------------------------|--------------------------------------------------|-------------|-----------------------------|
| <b>3月</b> | 27日(日) 耐  | ルーツ・ザ・原チャリ 第1戦              | <b>8月</b>                                        | 7日(日) ス     | 近畿スポーツランドロードレースシリーズ2016 第2戦 |
| <b>4月</b> | 3日(日) 耐ス  | デグナーミニバイクレース                |                                                  | 14日(日) 耐ス   | サテライトステージ・全日本カブ耐久 第2戦       |
|           | 17日(日) ス  | 近畿スポーツランドロードレースシリーズ2016 第1戦 | <b>9月</b>                                        | 11日(日) 耐    | DS 式輪道CUP                   |
| <b>5月</b> | 1日(日) 耐ス  | サテライトステージ・全日本カブ耐久 第1戦       |                                                  | 19日(月・祝) 耐  | ルーツ・ザ・原チャリ 第3戦              |
|           | 15日(日) 耐他 | 第4回 バイチャリ耐久                 |                                                  | 25日(日) 耐ス   | 滋賀モータサイクルスポーツフェスタ 第2戦       |
|           | 22日(日) 耐ス | Let'sレン耐【午前中のみ】             | <b>10月</b>                                       | 23日(日) ス    | 近畿スポーツランドロードレースシリーズ2016 第3戦 |
|           | 29日(日) 耐ス | 滋賀モータサイクルスポーツフェスタ 第1戦       |                                                  | 30日(日) ス    | 39カップ                       |
| <b>6月</b> | 12日(日) 耐ス | OSUライダーズカップ 第1戦             | <b>11月</b>                                       | 23日(月・祝) 耐ス | サテライトステージ・全日本カブ耐久 第3戦       |
|           | 19日(日) 耐  | DS 式輪道CUP                   | <b>12月</b>                                       | 4日(日) 耐     | 北川圭一杯ミニバイクレース               |
|           | 26日(日) 耐  | ルーツ・ザ・原チャリ 第2戦              |                                                  | 11日(日) 耐ス   | OSUライダーズカップ 第2戦             |
| <b>7月</b> | 3日(日) ス   | 39カップ                       | <div> 耐 耐久レース ス スプリントレース 走 走行会 他 その他のイベント </div> |             |                             |
|           | 17日(日) 耐ス | Let'sレン耐                    | 詳しくはキンスポ公式 HP をご確認ください!                          |             |                             |

## キンスポ杯 ライダーファイル VOL8



●プロフィール  
氏名 小島 歩 (コジマ アユム)  
年齢 29歳  
趣味 寝ること・ぼーっとすること  
職業 金属加工業  
好きな食べ物 たこ焼き  
特技 瞑想からの居眠り

本人コメント おいしいたこ焼きを探しています! よろしくお願ひします。

●RS ハミンのエース小島 2011年からKSLRR シリーズに参加し、少しずつ実力を伸ばし、昨年最終戦についてM-GPで、表彰台に上り詰めた。コアラのような表情で、ぼ~~~~っとした感じだが、ライディングはアグレッシブで、転倒も多かったが、ここにきて安定感も出始め2016さらなる飛躍が期待される選手だ。今年度はNSFやMoto4でのチャンピオン獲得に期待したい!

## KTCコーナー誕生!!

京都機械工具株式会社様  
のご協力により命名!



当初は複合やリトバ1つめと呼ばれていた順位掲示板前のコーナーが新たにKTCコーナーと命名されました。2005年から近畿スポーツランドRRRの協賛をいただいていたKTC京都機械工具株式会社が、2015年度最終戦より公式冠スポンサーに決定したことを記念して命名された。これまで数々の名勝負が生まれたKTCコーナー、これからも多くのドラマが生まれるだろう。



# KINSPO RACING PHOTO SERVICE

## 近スポレーシングフォトサービス!!

近畿スポーツランド杯写真販売



プロレーシングカメラマン  
**大西としや**



プロカメラマン大西としや撮影の  
キンスポ杯の写真を販売中(エントラント向け)  
写真は全てヘルメットのロゴまでパッチリプリントの合ったものをセレクトしています。



## シリーズ飛翔

(若人よ！時代は厳しいがなんとかはだけ！(VOL.4))

キンスポで練習やレースに励み、ロードレースに挑戦するライダーを紹介するコーナーです。第4回は長谷川聖選手です。

●氏名 長谷川聖 はせがわ しょう(15歳)

●出身 鹿児島県 中学3年生

●所属チーム CLUB Y's

●参戦レース 鈴鹿サンデードロードレース

●参戦予定 全日本ロードレース選手権

●ご紹介

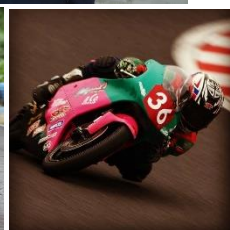
しょうちゃんの愛称で親しまれている少年で、キッズの頃からワイズカラーのキッズバイクでキンスポRRに参戦し、あどけない表情とは裏腹に芯が強く、練習励みメキメキと実力をつけM-EX(現M-GP)でも2013に表彰台を2度獲得し、ランキング4位に入った。昨年見事に鈴鹿と岡山のシリーズチャンピオンに輝き、CBR250Rドリムカップでも常に上位につけた。今年からは国際ライダーとしての活躍に期待！がんばれ聖！

●キンスポについて本人コメント

キンスポは僕が小学校1年生の時から走っていて、今まで一番走り込んだサーキットです。キンスポは僕にとって時計回りでも難しいコースなのでそこを走り込んでいたおかげで、2015年は鈴鹿と岡山でGP3クラスで年間チャンピオンが取れたのだと思います。

●本人コメント

今年はキンスポ代表のライダーとして全日本ロードレースでチャンピオン目指して頑張ります。



## 開幕戦 4月17日(日)開催！



杯近畿スポーツランドロードレース シリーズ2016 第1戦

一走入魂！この走りに全てをかける！！

●レディースクラス新設！

●4スト125cc(グロム等)のレギュレーションが変更！

●第1戦特別開催クラスはFP4-STです！



☆夢中になれるから楽しい！悔しいから上達する！スプリントレースしませんか？

☆ネット・現金書留・事務所

最終エントリー締め切りは4月10日(日曜日)迄！！

近畿スポーツランド公式ホームページからエントリーできます！

ホームページ <http://www.kinspo.com/>



観戦歓迎！入場料中学生以上お一人500円必要です m( )m



## 色々 販売してます!!



- 新品・中古タイヤ ●ワコーズ製品
- 純正パーツ ●ゼッケン ●公式ステッカー
- インスタントラーメン (お湯・箸付き)
- 一休お風呂券 ●売店 (阿治力)

## キンスポ杯 ライダーファイル VOL9



●プロフィール  
氏名 後藤憲治 (ゴトウ ケンジ)  
年齢 46歳  
趣味 献血  
職業 生コン会社勤務  
好きな食べ物 焼肉  
特技 ありません

コメント 僕なんか紹介してもらうような者ではありませんのに(-\_-)zzz

●キンスポではミスターNSF と呼ばれるほど、NSF100 発売当時から NSF100HRC トロフィーに参戦! 何度も代表権を獲得しグラチャンにて、2 位表彰台を 2 度も獲得しているベテラン選手。派手さはないが、冷静で、素晴らしいレース運びやライディング、レースに向かう姿勢も若い選手には是非見習ってほしい選手だ。

## 編集後記 やっちゃんの独り言Z VOL6

どもー最近お薬の量が少しづつ増え、不安MAXでも、酒もたばこもMAXのダメ人間やすひこです。2016年シーズン開幕間近ですね。皆様今シーズンもどうかキンスポをよろしく願い申し上げます。今年も沢山の個性豊かなレースが開催されますので、みなさんよろしくお願い申し上げます。さて、今回の話はライトバイク(ミニバイク)とロードレースというお話です。これまで近スポから有名無名にかかわらず沢山のライダーがロードレースに挑戦し、ジュニアライダーが今年も続々ロードレースに旅立っています。よくロードレースはミニバイクより当然に上のランクに位置するスポーツだと思われ、ロードレースはプロの方もいるので、立場的に上に位置すると世間のほとんどの方は思われていると思います。が、私の考えは少し違います。私はライトバイク(ミニバイク)とロードレースは似て非なる物! 決して、ロードレースのライダーの下に位置するとは思っていません。もちろん興業規模や動くお金、世間認知度はちがいますが...事、ライダーという点ではロードもライトも一線を画する独立したスポーツであると考えています。テニスと卓球のようにルールや形態は似ていても別物だと思っています。世間ではテニスの世界チャンピオンも凄いですが、卓球の世界チャンピオンもすごいことですよね! 競技場の規模は違えども、極めるには他のスポーツ同様にとてつもない努力が必要ということなのです。かかるお金は随分違います、その分あまりお金がなくても努力と実力があれば何とかなるモータースポーツそれがライトバイクレースの一番素晴らしいところだと私は思っています。もちろんライトバイクで身に付けたスキルや技術をロードレースに生かすこともできますし、ライトバイクレースを生涯のスポーツとして、トップ目指すこともできます。比較的危険の大きいロードレースから様々な理由でライトバイクレースに再び熱意を燃やすこともできますし、年齢的理由や経済的理由により、ロードからライトバイクに転向して頑張ることもできます。もはやライトバイクレースは単にロードにあこがれる人の通過点ではありません。エンジョイ派もガチ派もステップアップ派もありとあらゆるステージや立場のライダーがそれぞれのスタイルで楽しむことができるモータースポーツカテゴリーだと私は考えています。だから耐久・スプリント・2スト・4スト・ミッドジョン・スクーター・ノーマル・準改造・改造・ストック・10インチ・12インチ17インチ・カブに旧車にレンタルレースなどなど、あらゆる方があらゆる形態で楽しめているモータースポーツだと私は考えます。この文化を以前のバイクブームのようなものではなく、さらに確実に確固としたカテゴリーにするためにはどうすればいいか? あらゆる角度で考えていきたいと思います。みなさん色々教えてくださいお願いします。そのヒントの一つは、ちいさなバイクに大きなハートだと私は考えています。では今シーズンもよろしく願いします! **あぶ**

## (^0^)/なれるより習え! KSLライディングセミナー 受講生募集!!

